

# 神門通りの道づくり

## 其の四

平成22年  
11月20日

島根県  
出雲県土整備事務所  
都市整備グループ  
電話：30-5666

# 色彩・高さ・看板をどうするか

## 第四回ワークショップ開催

### グループディスカッション 町並みづくりについて議論

十一月一日の夜に出雲商工会において、第四回神門通りの今後の整備を考えるワークショップを開催しました。

プログラムの最初には、第三回ワークショップに引き続き、近畿大学で都市計画を専門とする脇田祥尚准教授により、景観形成のルールづくりの考え方について講演がありました。

伊勢市の事例では、伊勢神宮に続く通りを、町並のルールを定めた上で長い時間かけて、デザインを誘導し、その結果、魅力的な景観をつくりだしたことが、以前は人どおりがまばらだった通りが、今では多くの人で賑わっているという報告

がされました。

その一方、町並形成のルールが中途半端であったことから、町並み景観形成がうまくいかなかった事例として、彦根市内の例が報告されました。

次にグループに分かれて、町並み形成のためのルールづくりについて、議論を行いました。建物の高さ、色彩、広告、看板などの景観の要素ごとに、町並のルールづくりとして何が必要かを話し合いました。



建物の高さが2階程度が望ましい、看板の色彩はできるだけ抑えたほうがよい、屋根は勾配屋根として、瓦が望ましい、軒の出をつくることにより、観光客も雨宿りができる、などの意見が交わされ、その結果が、五つのグループごとに発表されました。

## 町並みのルールづくりの考え方 - 例として (脇田研究室作成)



# 町並みのルールづくりについて考える ★は2以上の意見

## ●町並みのイメージ

- 春日大社：賑やか
- 大社：静か・落ちついた
- 出雲大社は有名なが、来てみるときびしいと言われる。
- 店が閉まっていてもさみしくない街並
- “静か”だけでよいのか、賑わいのある通りにすればよいのか。
- 町並みが整っていない。
- 特長的に“大社”
- 車が通らないイメージ
- 店内が見えるように

## ●町並みづくり全般について

- 観光客・住民の共存が課題★★★
- 観光目的の通りにするのであれば民間活力を導入。
- 出雲大社を知るための広報を神門どおり沿いに散りばめる
- 荷物の積み下ろしをする場所
- 住民の情報を発信する場が欲しい
- 地元の人同士のにぎやか、交流の場にした

## ●ガイドラインづくり全般

- ある程度のルール、基準は必要★★★
- そろえるのは必要。勢溜から見た時に美しい。
- 松に合った町並みルール
- 住宅と店舗のデザインについて両方ガイドラインを示す
- ガイドラインは街並みからおのずとみちびき出される
- きっちりそろえるのではなく、幅をもたせると良いと思う
- 過度な規制は活性を阻害するし、面白みのない景観になる★★
- 突出することは禁止したいが、多少の凹凸はOKとする
- 和風の建物が門前町の町並みにふさわしい★★
- 和風で統一されることに異論あり。少し変化を!
- メンテナンス時にも助成金がもたらえたら良い
- 固定物に対しては規制を行う。可動物など小さい物は行政で規制まではしなくてもよい
- 30年先の目標は長すぎるのでは。

## ●ガイドラインのエリア分け

- 神門通り全てに景観統一する
- 神門通りの中でも性格違いがある。
- ガイドラインは範圍を一畑駅から坂上までを重点地区に

## ●高さのルールづくり

- 高さは概ね2Fにそろえる（松とつり合

## うから)★★★

- 高さの統一は大事。突出する場合はセットバック（3F以上）
- 2階建て以下と言いつけるのは・・・?
- 1F建てでもいいのか?
- 少し位はでこぼこがあっても良いのではないのか?
- 高さ制限しない（24m未満、7F）。特長的に観光情報センターのような再開発ビルを建てたい

## ●壁面線の統一

- 壁面は下げた方が良いが駐車場があるところは難しい。
- 壁面を下げた歩行者が通れるようにする。(現在の歩道が狭いから)
- 壁面線の統一し前面道路と直接接するようにする(セットバックなし)→店舗のにぎわいの創出
- 壁面線の統一各店、各戸の事情により違ってくる。明確なルール作りをしないとイケないのでは?
- 壁面線の統一は難しい。どこに合わせるのか?大きな改修が必要になる。

## ●建物用途のルールづくり

- 用途の規制について、コンビニはダメ。他の店が売れなくなる
- コンビニ、ガソリンスタンドに対する規制

## ●屋根、軒のルールづくり

- 傾斜屋根に統一★★★
- 大社を引き立たせるために屋根素材を瓦屋根で統一する★★
- 瓦で統一屋根の勾配を決めるのか?
- 妻入りの建物があっても良い
- 瓦の色は黒またはグレー★
- 黒瓦を基本にした方がいいのでは。赤瓦はちよつと・・・
- 軒下の長さの統一 歩く人の雨よけ、日よけにも良い★
- 軒、ひさしの統一があれば連続性はあり★
- 軒、屋根瓦など大きな部分を統一し小さな部分は個性を活かす

## ●建具のルールづくり

- サッシを使用した時、外側に格子をつける
- 木製建具は高い。無理な場合は木製や色彩統一などで対応しては?
- 玄関、窓まわりなど視線の高さが目立つし、重要
- 玄関は無理に引き違い戸にしなくても、デザイン的に和風にする方



法があるのでは。  
●木製でなくても格子は美しい

## ●壁の素材

- 漆喰、モルタル、木板、吹付 自然素材一味のもの
- トタン使用の禁止。板壁もしくは漆喰塗りとする

## ●色彩のルールづくり

- 色彩は、街並みに与える影響が大きいので規則が必要★★★
- 屋根、外壁の色彩の統一★★★
- “松”という出雲のイメージカラー
- 色彩は重要度大。モノトーン、茶など
- 看板、広告は原色以外
- 色彩の統一は白、灰、茶色に
- 色彩の調和ばかり考えすぎて、面白みが欠けるのは良くない

## ●門、塀についてのルール

- 住宅の新築の際、“門と塀”をつくるのは難しい。今は町家タイプで直接道路に面している
- 塀は柵ではなく生垣の方がよい

## ●既存の建物をどうするか

- 一畑電鉄との調和をどう考えるか、駅も和風にするのか?
- 商工会議所はどうするか?
- あまりにも街なみにかけ離れた建物はどうするか。

## ●駐車場の隠すルール

- 車がむき出しの駐車場は活気がなく見える。汚い。
- 通りに面した駐車場のとり方についてのルールづくりが必要
- 駐車場を隠すのは良いが、店舗前や自宅前に駐車スペースを確保したい者には難しい。★
- 駐車場の柵や塀の高さによっては出

入りに不便。

## ●植栽のルールづくり

- 松があるためこれ以上の植栽は必要ない
- 松を際立たせるように、植栽をおさえる。
- 幅がないところに植栽は通行のじゃま
- 植栽を置くのは大変
- 各家が花立てを置く
- 松も植えていない空間は植栽が必要
- 松の根に花の植栽は現在も進めているので良いと思う
- 駐車場にも植栽を

## ●看板のルールづくり

- 看板、のれん等の大きさ、色合いの制限、統一★★★★★
- 看板の大きさ、色合い、字体の統一感が必要。
- 風格と落ち着きのある参道として、看板の大きさの基準は必要

- 広告物は和風の街並みに適したものに。街並みの中で過度に目立たせないようにするため
- できる所からやるということでは広告重要
- 看板を統一する。のれんや屋号、すだれなど
- ネオン看板はやめる
- 看板は屋根より高くならないよう。店舗幅の2分の1以内
- 大きさ、色彩には一定基準をもうけてほしいが、個性を活かした看板も見たい
- ネオン、電飾等の扱いはどうでしょうか?あってもいい?
- のれんの色を淡い紫色
- タペストリーの活用
- 看板の大きさ、高さ程度を規制する(商売と街並み両立)

## ●その他設備等のルール

- ゾーラーをどうするか?

# 5グループの意見の集約

- 自販機等は目隠しするか、デザイン等を工夫する。★
- 建築設備、空調は景観上良くないため木製格子などで囲う★★
- 家の中に駐車場を設ける場合も木製戸などで隠しては?
- 賑わいを感じさせるために植栽ではなくベンチを配置する
- パライトなどは設置されないように

## ●空き地、空き家対策

- 空き地の修繕が必要★
- 駐車場、空き地等への配慮

## ●特色づくり

- 30年後、50年後をねらってマークのようなものをつくるのはどうか(こて絵等)
- 大社門前町としての特長がほしい(例 神話を取り入れて)



## 1班まとめ

- 交流の場があるといい
- 観光客と住民の両立は難しい
- 住民(商店も含む)と観光客の出会い場(共存できる場)があるといい
- ガイドライン作りへ向けて「松」に合った町並み
- 松が植わっていないところの植栽が必要である
- 瓦の色の統一(黒or赤)
- 出雲大社にきたという雰囲気づくり

## 2班まとめ

- 高さは2Fまでが望ましい
- 色合いの制限が必要
- 壁面はできるだけそろえたい
- 屋根は瓦でいぶし銀

## 3班まとめ

- 見た目を美しくするために高さをそろえる
- 壁面線の統一は必要だが幅を持たせる
- 玄関や窓回りなど背の高さにもあるのはコントロールが必要
- 自動販売機など外から入って来たものはデザインを統一しやすい
- 外壁にこてなどで神門通りのシンボルマークをつける

## 4班まとめ

- イメージ図のような町並みができるといい
- 大社らしいデザインを取り入れる
- 色は重要(広告物・看板・外壁など)
- 高さは24m未満

## 5班まとめ

- 10年20年先を見越すのは難しい
- 屋根瓦など大きな部分を統一(小さな部分は個性を活かす)
- 看板の大きさ、高さ程度を規制する(商売と街並み両立)
- 駐車場、空き地等への配慮



# アンケート葉書の意見 (抜粋)

## 神門通りの まちづくりについて

- ・この神門通りの整備こそ、これからの出雲・島根の観光を決めるものと最大の覚悟で向かうべきと考えます。
- ・大型車両規制、一方通行、時間帯の交通規制は沿道業者によっては営業が出来なくなるので考慮が必要(規制には反対)
- ・現状のままで良い。趣があつて良いと思う。他の場所を考える事!!
- ・何かを「つくる」のではなく、「なくす」ことで美しくなる
- ・松(小林徳一朗の)を生かした神門通りらしい雰囲気大切にす。
- ・現況では、観光客にとつても、生活者にとつても、大変危険で、不便な状態です。一日も早く安全で、観光客に対しても自信をもって誇れる神門通りになってほしい。
- ・行政側からの神門通り整備は、観光利用目的が最優先されている様に思える。恩恵を受けるのは一部の観光関連業者と、観光客だけの様に考えられる。観光整備が必要であるなら、今回の整備距離は長すぎるのではないかな?
- ・道路の幅が出来るところは歩道を3m位の中はほしいと思います。特に宇伽橋の歩道は早く実現してほしい。
- ・出雲市大社支所の不用の建物は壊して駐車場を作り、現在の交通広場から勢溜までの人の流れを宇伽橋まで続くようにしてほしい。
- ・神門通り両側の空き家、空き店舗の情報(売却・貸家希望など)集約をして、神門通りの活用。出店を考える方に提供してほしい。
- ・皆様(官民連携)の協力により、神門通りににぎわいが取り戻せつつあるように思え、とても嬉しく思う。
- ・蕎麦屋(素人の蕎麦好きの人の集まりで土日祝日限定)を空き家利用で出店すれば行列の解消と利益になる。
- ・神門通りは現状のままで、雨水排水多少の整備とし、歴博周辺など他の場所へ店舗の拠点を作るべき。
- ・信長の楽市楽座のように、行政が環境をつくれれば、商売人が集まり、町が栄えます。
- ・温泉の有効的な活用(温泉ホテル)で観光客の滞在時間を長くすることができないのでしょうか。
- ・どんどん進めてほしい。そしてこのように情報を流してほしい。提案も支援もしたい。
- ・すばらしい取組み方だと思います。応援します。
- ・積極的に参加できるような住民参加・専門家参加システム、情報公開してほしい。
- ・アドバイザー・コーディネーターは国内外のありとあらゆる街づくり、道づくりの事例を提示すべき。市民の意見は大切であるが、目的が散漫にならないためにも、強いリーダーシップ(というよりはナビゲーション)が必要。
- ・立場や思いの違う意見をどう集約するか。第三者的なきれいな事が主流にならない運営を願います。
- ・今まで大社町時代から何回も神門通りの整備に関する会が開催されましたが、何一つ変わらないで今に至っています。平成25年5月の大遷宮に間に合わせるという事を前面に打ち出して、神門通りの整備を行う。
- ・地元神門通り以外の人々は全く意識していない。関心は無い。
- ・賛否を大社町全住民から伺うこと。神門通りの住民しか(その中の一部)賛成してないと思う。

## ワークショップや計画の進め方について

## 舗装の考え方

第三回ワークショップで議論のテーマとなった道路の舗装については、インタローキングブロックの評価が総じて低かったのに対して、石材と、たわみ性舗装について、ほぼ二分する評価でした。ワークショップのちに、景観アドバイザーからは、主に景観面から石材による舗装での整備提案を受けていますが、景観面のほかに、耐久性、予算面等を踏まえて、最終的には行政の方で舗装材を決定したいと考えています。



景観アドバイザーからの提案である石材舗装のイメージ



料金受取人払郵便

出雲支店  
承認  
1596

差出有効期間  
平成 23 年  
3 月 31 日まで  
切手をはらずに  
お出しください

郵便はがき

6 9 3 8 7 9 0

065

出雲市大津町1139番地  
島根県出雲県土整備事務所  
土木工務部 都市整備グループ 行



該当するものに○をつけてください

- ①住所 a. 神門通り近隣 b. 大社町内 c. 大社町外
- ②性別 a. 男性 b. 女性
- ③年齢 a. 20 歳未満 b. 20 歳代 c. 30 歳代  
d. 40 歳代 e. 50 歳代 f. 60 歳以上
- ④職業 a. 会社員 b. 自営業 c. 農業  
d. 公務員 e. 主婦 f. 学生 g. その他 ( )

※以下は記入されなくても結構です

〒 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_  
名前 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_

### スケジュール

第 1 回 神門通り整備を考える  
H22 年 7 月 25 日 (日)

第 2 回 神門通りの使い方を考える  
H22 年 9 月 6 日 (月)

第 3 回 神門通りの景観を考える～1  
H22 年 10 月 4 日 (月)

今回 第 4 回 神門通りの景観を考える～2  
H22 年 11 月 1 日 (月)

次回 第 5 回 神門通りの今後を考える  
H22 年 11 月 29 日 (月)

社会実験 (下記参照)  
11 月 25 日～12 月 5 日

## 神門通りの社会実験を実施します

# ぜひともPR館にお越しください

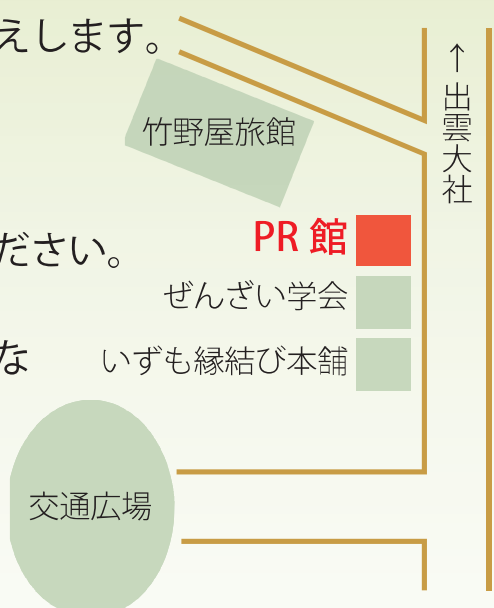
PR 館では社会実験の詳しい情報や、これまで行われてきた住民の方々とのワークショップに関する情報をお伝えします。

大社まち歩きのための観光情報もそろえています。

温かいお茶とストーブで、冷えたからだを温めてください。

アンケートに答えていただいた方には、抽選で素敵なプレゼントを進呈いたします。

開館日：11 月 25 日～12 月 5 日  
開館時間：平日 9 時～16 時 / 土日 9 時～17 時





# 伊勢市おはらい町

(参考にしたい通り)



景観  
アドバイザー

脇田先生紹介の事例写真から

## アンケート回答用紙

質問① 神門通りについてのご意見を下さい

質問② ワークショップや計画の進めかたについて  
ご意見ください

質問③ ご自由に意見を下さい

## 彦根市内の通り

(景観の面では?)

